

【参考資料 3】 個別業務資料

資料 番号	業務名	資料
①	次亜塩素酸ナトリウム等物品購入	特記仕様書・数量表
②	浄化槽維持管理業務 (熊谷・大里・妻沼・江南)	数量表
③	東部浄水場受水槽点検清掃業務	数量表
④	江南浄水場水質自動監視保守点検	特記仕様書・数量表
⑤	東部浄水場空調設備保守点検	特記仕様書・数量表・対象機器一 覧表・空調設備系統図
⑥	地下燃料タンク保守点検	特記仕様書・数量表
⑦	消防用設備保守点検	特記仕様書・数量表
⑧	建築基準法に基づく防火設備点検	特記仕様書・数量表
⑨	第 1 種特定製品定期点検	特記仕様書・数量表
⑩	緑地管理業務(熊谷・大里・妻沼・江南)	特記仕様書・数量表
⑪	各浄配水場室内清掃業務	特記仕様書・数量表

次亜塩素酸ナトリウム等物品購入業務

特記仕様書

1 総 則

- (1) 本仕様書は、次亜塩素酸ナトリウム、苛性ソーダ及びチオ硫酸ナトリウム水溶液（以下、「薬品類」という。）の納入に係る仕様について定めるものである。
- (2) 受注者は、各々の薬品が水道水の供給にあたり不可欠なものであることを十分に認識し、万全な体制をもって納入を図るものとする。
- (3) 納入の際は、発注者と十分打合せを行い、その指示に従い納入すること。

2 件 名 次亜塩素酸ナトリウム等物品購入業務

3 品 目

- (1) 次亜塩素酸ナトリウム
 - ① タンクローリー納め
 - ② 20kg箱納め
- (2) 苛性ソーダ（タンクローリー納め）
- (3) チオ硫酸ナトリウム水溶液（25kg箱納め）

※ 納入形態の詳細及び過去5年間の購入実績等については、別紙「次亜塩素酸ナトリウム等物品購入業務 数量表」を参照のこと。

※ 箱納めの施設については、納入時に使用済み空箱の回収も行うこと。

4 納入場所 熊谷市原島1031番地ほか（内訳は下記のとおり。）

- | | |
|--------------|-------------|
| (1) 東部浄水場 | 熊谷市原島1031番地 |
| (2) 北部浄水場 | 熊谷市今井945番地 |
| (3) 西部浄水場 | 熊谷市拾六間22番地2 |
| (4) 玉作浄水場 | 熊谷市玉作3518番地 |
| (5) 妻沼新第2浄水場 | 熊谷市八ツ口181番地 |
| (6) 江南浄水場 | 熊谷市成沢926番地 |

6 品質規格 納入する薬品類は、以下に適合するものとする。

(1) 次亜塩素酸ナトリウム

日本水道協会規格（JWWA K120：2008-2）に適合する、品質が特級及び一級の製品で、納入時の品質が等級ごとに以下の表に適合すること。

① 特級

項 目	単位	品質規格
有効塩素	%	12.0以上
比重（20℃）	—	1.16以下
塩素酸	mg/kg	2,000以下
臭素酸	mg/kg	10以下
遊離アルカリ	%	2以下
塩化ナトリウム	%	2.0以下
外観	—	淡黄色の透明な液体

② 一級

項 目	単位	品質規格
有効塩素	%	12.0以上
比重（20℃）	—	1.16以下
塩素酸	mg/kg	2,500以下
臭素酸	mg/kg	25以下
遊離アルカリ	%	2以下
塩化ナトリウム	%	1.0以下
外観	—	淡黄色の透明な液体

(2) 苛性ソーダ（25％）

日本水道協会規格（JWWA K122：2005）に適合する製品で、納入時の品質が以下の表に適合すること。

項 目	単位	品質規格
水酸化ナトリウム	%	25以上
塩化ナトリウム	%	1.5以下
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.001以下
水銀及びその化合物	mg/L	0.00005以下
セレン及びその化合物	mg/L	0.001以下
鉛及びその化合物	mg/L	0.001以下
ひ素及びその化合物	mg/L	0.001以下
六価クロム化合物	mg/L	0.005以下
ニッケル及びその化合物	mg/L	0.001以下
アンチモン及びその化合物	mg/L	0.0015以下
外観	—	無色・僅かに着色した透明な液体

(3) チオ硫酸ナトリウム水溶液（ハイポ液）

日本産業規格（J I S K 1 4 2 0）に適合するチオ硫酸ナトリウム（結晶）を、精製水を用いて水溶液にしたもので、納入時の品質が下表に適合する製品であること。

項 目	単位	品質規格
チオ硫酸ナトリウム	%	3 0 . 0 % ± 1 . 0 %
p H （ 2 5 ℃）	%	7 . 5 % ± 1 . 0 %
比重（ 2 5 ℃）	—	1 . 2 7 以上
外観	—	無色透明

7 規格の厳守

- (1) 受注者は、薬品類の規格を遵守し規格外の製品を納入しないこと。
- (2) 規格外の薬品類が出荷、納入された場合には、当該品の交換及び損害について補償すること。
- (3) 規格外の薬品類を納入したことにより、明らかに受注者の責に帰すべき障害が発生した場合には、受注者が障害の回復の責を負うものとする。

8 納期及び納入時提出書類

- (1) 納入期間中、発注者は発注ごとに納入日時を指定する。
- (2) 受注者は発注者の指定する納入日時を厳守すること。なお、輸送の都合等により指定日時に納入できないときは、受注後速やかに発注者と納入日時を協議すること。
- (3) 受注者は、納入時に発注者に対して次の書類を提出すること。

① 計量証明書

② 納入品の分析試験成績書等

ア 初回納品時

受注者は発注者に対し、契約締結後速やかに納入品製造会社が製造する薬品類が「水道施設の技術的基準を定める省令」（平成 1 2 年 2 月 2 3 日厚生労働省令第 1 5 号 ※最終改正を使用のこと）に適合することを証明する公的機関又はそれに準ずる機関の分析結果書（公示日以降に採取した試料によること。）を提出する。

試験方法については、最新の「水道用薬品類の評価のための試験方法ガイドライン」、日本水道協会規格（J WWA）及び日本産業規格（J I S）に基づき行うものとする。

なお、この成績書には、分析機関名を明記すること。

イ 納入ごと

受注者は発注者に対し、納入する薬品類の品質検査結果を、納入する輸送車ごとに提出すること。

9 安全管理

- (1) 受注者は、危険防止のために必要な事項等について確認し、納入従事者に指導教育を行わなければならない。

- (2) 納入従事者は、薬品類の納入にあたり、受入装置その他場内各施設に損傷を与えないよう、細心の注意を払うほか、専用保護具及び中和剤の所持等、安全確保に必要な対策を講じなければならない。
- (3) 受注者は、納入用ホースを含む専用物品について、薬品ごとに適した材質を使用するとともに、その耐圧管理等に責任をもってあたなければならない。
- (4) 納入従事者は、車両タンクから貯蔵タンクへ薬液を移送する際は、ホースの接続及びバルブの開閉等、安全確認を実施した上で作業を行い、漏洩事故のないようにすること。
- (5) 納入に際して階段を使用する施設については、転落等の事故に十分注意すること。

10 その他の事項

- (1) 受注者は、混入の恐れのある有害物質については関係法令に留意し、薬品類による水質汚染を生じさせてはならない。
- (2) 受注者は、労働安全衛生法その他関係する全ての法令等を遵守し、十分な保安措置を講じ、事故防止に万全を期さなければならない。なお、法令に規定されていない事項についても、担当職員の指示があれば、必要な措置を講じなければならない。
- (3) 受注者は、不完全な機械の使用による損害、あるいは発注者の構築物等を汚染または損傷した場合には、受注者の負担で復旧しなければならない。
- (4) 納入された薬品類を使用することにより、水道法第4条に定める水質基準に支障をきたす事態が生じ、発注者から改善の指導を受けた場合において、受注者が正当な理由なくして直ちに措置を講じない場合は、発注者はこの契約を解除することができる。
- (5) この仕様書に定めるもののほか、必要な事項については、発注者、受注者協議の上定める。

場所		品名・規格	納品形態	【参考】購入実績（過去5年間）					
				R2	R3	R4	R5	R6	
西部浄水場	拾六間22-2	次亜塩素酸ナトリウム (有効塩素12%以上) ※品質特級	20kg / 箱	100 箱	95 箱	100 箱	120 箱	110 箱	
北部浄水場	今井945			195 箱	230 箱	255 箱	270 箱	285 箱	
玉作浄水場	玉作3518			210 箱	195 箱	250 箱	180 箱	180 箱	
東部浄水場	原島1031	次亜塩素酸ナトリウム (有効塩素12%以上) ※品質特級	タンクローリーー 4t車可	44,000 kg	46,110 kg	53,070 kg	53,870 kg	60,620 kg	
妻沼新第2浄水場	ハヅ□181		タンクローリーー 10t車まで可	12,000 kg	15,010 kg	15,040 kg	17,960 kg	19,930 kg	
			タンクローリーー 2t車限定	3,000 kg	3,990 kg	1,990 kg	2,960 kg	2,990 kg	
江南浄水場	成沢926	苛性ソーダ（25%）	4,000 kg	4,040 kg	4,080 kg	4,020 kg	2,030 kg		
		チオ硫酸ナトリウム水溶液 （ハイボ液）	25kg / 箱	45 箱	60 箱	45 箱	45 箱	40 箱	

※ 規格等の詳細は仕様書を確認のこと。

※ 西部浄水場及び北部浄水場については、階段を仕舞っての納入となるため注意すること。

※ 西部浄水場、北部浄水場、玉作浄水場及び江南浄水場については、納品時に使用済み空箱を回収すること。

熊谷地区浄化槽維持管理業務 数量表

【参考資料3－②】

場所	項目		数量 回数	(参考)	実施回数(契約期間)			
	種別	備考			R7下半期	R8	R9	R10上半期
東部浄水場	合併・35人槽 (分離接触ばっ気方式)	点検(6・9・12・3月)	4回	2回	2回	4回	4回	2回
		清掃(9・3月)	2回	1回	1回	2回	2回	1回
北部浄水場	単独・5人槽 (分離接触ばっ気方式)	点検(6・10・2月)	3回	1回	2回	3回	3回	1回
		清掃(3月)	1回	0回	1回	1回	1回	0回
西部配水場	単独・5人槽 (分離ばっ気方式)	点検(6・10・2月)	1回	1回	2回	3回	3回	1回
		清掃(3月)	1回	0回	1回	1回	1回	0回
吉岡配水場	合併・5人槽 (ろ床接触方式)	点検(6・10・2月)	1回	1回	2回	3回	3回	1回
		清掃(3月)	1回	0回	1回	1回	1回	0回

大里地区浄化槽維持管理業務 数量表

【参考資料 3 - ②】

場所	項目		数量 回数	(参考) R7上半期	実施回数(契約期間)			
	種別	備考			R7下半期	R8	R9	R10上半期
玉作浄水場	合併・10人槽 (流量調整型嫌気ろ床 担体流動生物ろ過方式)	点検(5・9・1月)	3 回	2 回	1 回	3 回	3 回	2 回
		清掃(2月)	1 回	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回

妻沼地区浄化槽維持管理業務 数量表

【参考資料3－②】

場所	項目		数量 回数	(参考) R7上半期	実施回数(契約期間)			
	種別	備考			R7下半期	R8	R9	R10上半期
妻沼第2浄水場	単独・7人槽 (長時間ばっ気方式 全ばっ気型)	点検(6・9・12・3月)	4 回	2 回	2 回	4 回	4 回	2 回
		清掃(9・3月)	2 回	1 回	1 回	1 回	1 回	1 回

江南地区浄化槽維持管理業務 数量表

【参考資料3－②】

場所	項目		数量 回数	(参考) R7上半期	実施回数(契約期間)			
	種別	備考			R7下半期	R8	R9	R10上半期
江南浄水場	合併・5人槽 (前ばっ気型浮上ろ過 好気ろ床方式)	点検(5・9・1月)	3 回	2 回	1 回	3 回	3 回	2 回
		清掃(1月)	1 回	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回

東部浄水場受水槽点検清掃業務 数量表

【参考資料3－③】

場所	項目		数量		(参考) R7上半期	実施回数(契約期間)			
	種別	備考	数量	回数		R7下半期	R8	R9	R10上半期
東部浄水場	受水槽清掃(12㎡)		1 式	1 回	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
	機能点検	施設外観、制御装置、ポンプ モーター付属機器、その他全般	1 式	1 回	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
	水質検査	残留塩素測定、色、濁り、臭い 等異常の有無	1 式	1 回	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
	消毒剤散布	次亜塩素酸ナトリウム	1 式	1 回	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回

江南浄水場水質自動監視装置 保守点検業務

特記仕様書

熊谷市上下水道部水道課

第1 基本的事項

1 適用

本仕様書は、江南浄水場水質自動監視装置保守点検業務（以下、「本件業務」という。）に適用する。

2 目的

江南浄水場膜ろ過棟内に設置された水質自動監視装置について、必要な保守及び点検を行うことを通じて、装置及びその付属設備を常に正常な状態に保つとともに、故障等の発生を未然に防止し、その機能を最良な状態で維持することを目的とする。

3 業務場所 熊谷市成沢926番地 江南浄水場膜ろ過棟内

4 業務数量 数量は別紙「熊谷地区緑地管理業務 数量表」を参照するほか、詳細は下記を参照のこと。

5 対象機器

- (1) 株式会社環境電子製 水質自動監視装置（NBA-03型） 一式
- (2) 飼育水槽及び付属設備 一式

6 業務内容

- (1) 定期点検（年1回） 消耗部品等の交換及びメーカーによる精密点検、清掃

① 装置本体各部

- ア 制御部 本体電源電圧、制御電源電圧、コネクター部、端子部、表示部点灯状態
- イ 水槽・水循環部 監視水槽、水位センサー、給排水量、監視水槽水位、配管部、配管ジョイント、弁類、LED照明、給餌器
- ウ 表示部 モニター、監視カメラ及びレンズ、モニターブロック表示状況、画像センサー、画像処理設定
- エ 警報部 各種警報、センサー類、警報時における自動採水機能、電磁弁
- オ 加温器部 電源電圧、温度センサー、サーモスタット
- カ 消耗部品類交換 ろ過マット、エアーポンプ、水中ポンプ、ヒーター、魚類捕獲用ネット
- キ 筐体 架台を含む。

② 飼育水槽各部

- ア 飼育水槽本体及び架台（給排水量及び水位含む。）
- イ 配管、ジョイント及び弁類

③ 共通事項

- ア 試験魚（ヒメダカ）補充
- イ 餌残量の確認及び補充
- ウ その他必要な事項

(2) 緊急点検

- ① 発注者から装置の故障等による緊急の要請を受けた場合には、受注者は速やかに技術者を派遣して緊急点検を実施し、修理及び復旧等、必要な措置を行うものとする。
- ② 故障等の原因が次に掲げるものによる場合、それに要する費用の負担は発注者及び受注者で協議の上、決定するものとする。
 - ア 故意または重大な過失及び取扱不良
 - イ 改造、修理、分解または加工
 - ウ 天災等の不可抗力

(3) 特記事項

- ① 定期点検時及び緊急点検時以外で試験魚（ヒメダカ）の補充が必要な場合については、受注者は宅急便その他の方法により下記に配達するものとする。

ただし、試験魚の死着を可能な限り防ぐため、出荷から配達までの間における急激な温度変化の防止等、必要な対策を講じること。

配達先 熊谷市上下水道部水道課
〒360-0811 埼玉県熊谷市原島1031番地

- ② 本件業務委託において補充される試験魚（ヒメダカ）については、すべて生育管理などのトレーサビリティを確実にしているメーカーのものとする。

7 報告書類

受注者は、定期点検及び緊急点検の実施後、その結果を速やかに発注者へ書面により報告しなければならない。

ただし、報告に用いる様式は受注者の任意とするが、交換した消耗部品及び点検、清掃の内容が明確になるよう、注意すること。また、必要に応じ点検者の所見及びその後の運用に有益な提案等を付すこと。

第2 一般的事項

1 法令等の遵守

- (1) 受注者は、業務の遂行にあたり関係する法令等について、これを遵守する。
(2) 業務の遂行にあたり資格、検定、認定等を必要とする場合には、当該資格を有する者に行わせなければならない。

2 機密の保持

- (1) 受注者は、業務の遂行上知り得た情報を第三者に漏らしてはならない。
(2) 受注者は、本件業務委託において取り扱う情報（有形、無形を問わない）が漏洩した場合、水道施設に対するテロ行為等に悪用される恐れがあることを十分に認識した上で業務にあたるなければならない。
(3) 上記(1)の規定は、本契約終了後もその効力を有する。

3 手続き等 業務の遂行上必要な手続き等は、受注者の負担により行う。

4 安全衛生管理

- (1) 受注者は、本件業務に係る事故の防止と安全衛生の確保のために必要な措置を講じなければならない。
(2) 受注者は、対象が水道施設であることを十分に認識し、業務の実施に当たっては安全及び衛生に細心の注意を払わなければならない。

5 疑義の解釈

- (1) 本仕様書は業務の概要を示すものであり、業務の履行上、当然必要と認められる事項については、本仕様書に記載されていない事項であっても受注者の責任において実施しなければならない。
(2) このほか、この仕様書に定めのない事項、またはこの仕様書について疑義が生じた場合は、発注者及び受注者で協議の上決定する。

場所	項目		数量		(参考) R7上半期	実施回数(契約期間)			
	種別	備考	数量	回数		R7下半期	R8	R9	R10上半期
江南浄水場	水質自動監視装置	定期点検	1 式	1 回	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
	飼育水槽及び付属設備		1 式	1 回	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回

※ 点検内容等の詳細は特記仕様書を確認のこと。

東部浄水場空調設備保守点検業務

特 記 仕 様 書

熊谷市上下水道部

1 適 用

本仕様書は、東部浄水場空調設備保守点検業務に適用する。

2 業務目的

本件業務は、東部浄水場内の空調設備について、冷暖房の切替え及び機器の故障を未然に防止するための保守点検を行うものである。

3 業務数量

詳細は別紙 1 「東部浄水場空調設備保守点検業務 数量表」を参照のこと。

4 業務仕様

- (1) 本特記仕様書に記載されていない事項については、電気・機械設備工事等共通仕様書を優先する。
- (2) 両仕様書に記載されていない事項については、「建築保全業務共通仕様書」及び「公共建築工事標準仕様書」(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)による。

5 対象機器

別紙 2 「対象機器一覧表」及び別紙 3 「空調設備系統図」を参照。

6 業務内容

(1) 冷温水発生機点検

① 冷房 IN 点検

- ア 切替運転準備作業（設備側の準備確認チェック等）
- イ 本体冷暖切替弁の切替え
- ウ 運転盤スイッチの切替え
- エ 真空度のチェックと抽気（パラジウムセルのチェック含む）
- オ ポンプ及びモーター類の絶縁確認
- カ 燃料配管系の洩れチェック
- キ 機器類の外観点検
- ク フレームロッドの動作確認
- ケ 失火試験及びフレーム電流の確認
- コ 燃焼機器類の設定確認
- サ 安全装置の点検確認
- シ 燃焼状態の点検確認（排ガス分析及び調整含む）
- ス 冷媒再生（冷房時のみ）
- セ 運転データ記録及び点検
- ソ 自動制御系の点検確認
- タ 抽気系統の点検整備
- チ 煙管清掃

② 暖房 IN 点検

- ア 切替運転準備作業（設備側の準備確認チェック等）
- イ 本体冷暖切替弁の切替え
- ウ 運転盤スイッチの切替え
- エ 真空度のチェックと抽気（パラジウムセルのチェック含む）
- オ ポンプ及びモーター類の絶縁確認
- カ 燃料配管系の洩れチェック
- キ 機器類の外観点検
- ク フレームロッドの動作確認
- ケ 失火試験及びフレーム電流の確認

- コ 燃焼機器類の設定確認
- サ 安全装置の点検確認
- シ 燃焼状態の点検確認（排ガス分析及び調整含む）
- ス 運転データ記録及び点検
- セ 自動制御系の点検確認
- ソ 抽気系統の点検整備
- タ 煙管清掃

③ 冷房 ON 点検

- ア 機器類の外観点検
- イ 真空度のチェック（必要に応じ点検）
- ウ 燃料配管系の漏洩チェック
- エ 燃焼状態の点検確認（排ガス分析及び調整含む）
- オ 運転データの記録と点検
- カ 自動制御系の点検確認
- キ 薬品・水素抑制剤の投入（Z インヒビターC セット）
※ 溶液調整及び試運転調整を含む。

④ 暖房 ON 点検

- ア 機器類の外観点検
- イ 真空度のチェック（必要に応じ点検）
- ウ 燃料配管系の漏洩チェック
- エ 燃焼状態の点検確認（排ガス分析及び調整含む）
- オ 運転データの記録と点検
- カ 自動制御系の点検確認

(2) 冷却塔点検（冷房 IN 点検時）

- ① 外観点検
- ② 内部清掃、注水（冷房開始時）
- ③ V ベルトの点検
- ④ 送風機軸受点検
- ⑤ 電動機絶縁測定
- ⑥ 運転状態の点検及び調整（散水状態、給水状態、異常音、振動、電圧、電流、その他）

(3) 冷却塔点検（冷房 ON 点検時）

- ① 除菌及び洗浄（アメーバカット AZ-90）
- ② レジオネラ属菌検査（1 系統×1 検体、殺菌剤投入含む）

(4) 冷却塔シーズンオフ点検（暖房 IN 点検時）

- ① 外観点検
- ② V ベルトの点検
- ③ 送風機軸受点検
- ④ 電動機絶縁測定
- ⑤ 運転状態の点検及び調整（散水状態、給水状態、異常音、振動、電圧、電流、その他）

(5) 冷却水ポンプ、冷温水ポンプ、オイルギアポンプ及び温水循環ポンプ点検（冷房 IN 点検時）

- ① カップリングボルトの点検
- ② グランドパッキン部の点検
- ③ 電動機絶縁測定
- ④ 運転状態の点検及び調整（運転圧力、異常音、振動、電圧、電流、その他）

- (6) 冷却水ポンプ、冷温水ポンプ、オイルギアポンプ及び温水循環ポンプ点検(暖房 IN 点検時)
- ① カップリングボルトの点検
 - ② グランドパッキン部の点検
 - ③ 電動機絶縁測定
 - ④ 運転状態の点検及び調整(運転圧力、異常音、振動、電圧、電流、その他)
- (7) パッケージ型空調機、ハンドリングユニット、ファンコイルユニット、全熱交換機点検(冷房 IN 点検時)
- ① ファンモーター絶縁測定
 - ② ファンモーター運転電流測定
 - ③ ベルト点検調整
 - ④ ファン軸受のグリスアップ
 - ⑤ ドレンパンの点検及び清掃
 - ⑥ サーモ切り替え及び三方弁の動作確認
 - ⑦ ロールフィルターの残量確認
 - ⑧ 各フィルターの洗浄
- (8) パッケージ型空調機、ハンドリングユニット、ファンコイルユニット、全熱交換機点検(暖房 IN 点検時)
- ① ファンモーター絶縁測定
 - ② ファンモーター運転電流測定
 - ③ ベルト点検調整
 - ④ ファン軸受のグリスアップ
 - ⑤ ドレンパンの点検及び清掃
 - ⑥ 加湿器の点検及び清掃(暖房機のみ)
 - ⑦ サーモ切り替え及び三方弁の動作確認
 - ⑧ ロールフィルターの残量確認
 - ⑨ 各フィルターの洗浄

7 事故防止等の措置

- (1) 本業務にかかる点検作業は、安全確保のため2人以上で行うこと。
- (2) 事故等の緊急事態に備え、適切な処理が行えるような体制を確保すること(発注者からの緊急連絡により、即時に点検修理体制をとること。)
- (3) 事故後及び不具合等が発生した場合は、臨時点検を行うこと。

8 現場管理

機器の取扱い及び清掃は丁寧かつ慎重に行うとともに、点検現場の清掃を行うこと。

9 その他

本仕様書に定めのない事項または使用に疑義が生じた場合には、発注者及び受注者双方で協議のうえ定めるものとする。

点検対象	項目		備考	数量		(参考)	実施回数(契約期間)			
	種別			数量	回数		R7上半期	R7下半期	R8	R9
東部浄水場	(1) 冷温水発生機点検	冷房IN点検		1 式	1 回	1 回	0 回	1 回	1 回	1 回
		暖房IN点検		1 式	1 回	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
		冷房ON点検		1 式	1 回	1 回	0 回	1 回	1 回	1 回
		暖房ON点検		1 式	1 回	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
	(2) 冷却塔点検	冷房IN点検時		1 式	1 回	1 回	0 回	1 回	1 回	1 回
		冷房ON点検時		1 式	1 回	1 回	0 回	1 回	1 回	1 回
		冷房シーズンオフ点検(暖房IN点検時)		1 式	1 回	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
	(3) 冷却水ポンプ、冷温水ポンプ及び オイルギアポンプ点検	冷房IN点検時		1 式	1 回	1 回	0 回	1 回	1 回	1 回
		暖房IN点検時		1 式	1 回	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
	(4) パッケージ型空調機、ハンドリング ユニット、ファンコイルユニット、 全熱交換機点検	冷房IN点検時		1 式	1 回	1 回	0 回	1 回	1 回	1 回
		暖房IN点検時		1 式	0 回	1 回	1 回	1 回	1 回	0 回

※ 点検内容等の詳細は特記仕様書を確認のこと。

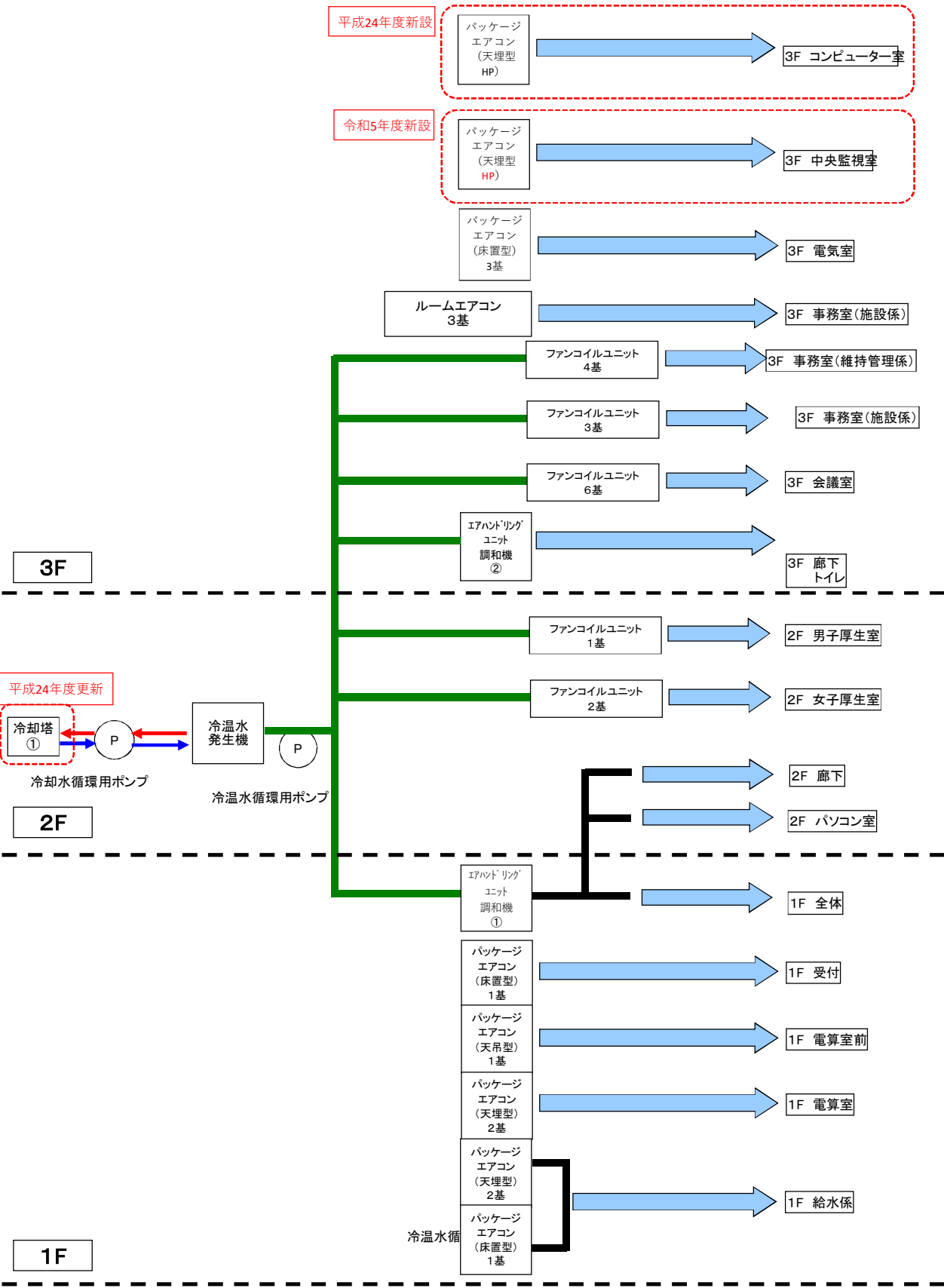
対象機器一覧表

【参考資料 3－⑤】

	機器名称	型番・規格	メーカー	数量	設置場所
1	冷温水発生機	CH-K40U22	矢崎総業	1	2F 屋内
2	冷却塔	SBC-60ES	荏原	1	2F 屋外
3	冷温水循環用ポンプ	80SGM×3.7KW-4P	荏原	1	2F 屋内
4	冷温水循環用ポンプ	80SGM×2.2KW-4P	荏原	1	2F 屋内
5	冷却水循環用ポンプ	80LPD57.5A	荏原	1	2F 屋外
6	オイルキアポンプ（自家発小出槽）	25GPAR5.75A	荏原	1	1F 屋外
7	オイルキアポンプ（2Fオイルサービスタンク用）	15GPAR5.2	荏原	1	1F 屋外
8	オイルキアポンプ（返送用）	15GPEM5.2	荏原	1	2F 屋内
9	パッケージ型空調機（空冷式・床置型）	FR-25JB	ダイキン	3	3F 屋内
10	エアハンドリングユニット	DHU-160	暖冷工業	2	2F 屋内
11	ファンコイルユニット	天井ユニット		16	1F・2F・3F
12	パッケージエアコン（空冷式・天埋型）	FHYCJ 112B	ダイキン	4	1F 屋内
13	パッケージエアコン（ヒートポンプ式・天埋型）	FHCP160BC	ダイキン	2	3F 屋内
14	パッケージエアコン（空冷式・天吊型）	FHYCJ 160L	ダイキン	1	1F 屋内
15	パッケージエアコン（空冷式・床置型）	FVYJ 160LA	ダイキン	2	1F 屋内
16	パッケージエアコン（空冷式・天埋型）	FXYEP140NB	ダイキン	4	3F 屋内
17	全熱交換機	VAM350FHS		1	2F 屋内
18	全熱交換機	LGH25R2		1	2F 屋内
19	パッケージエアコン（空冷式・天吊型）	RPC-AP280EA4	日立	1	3F 屋内

空調設備系統図

【参考資料3-⑤】



【参考資料 3－⑥】

地下燃料タンク点検業務

特記仕様書

熊谷市上下水道部

1 目 的

地下燃料タンクについて、消防法第14条の3の2および危険物の規則に関する規則第62条の4より、定期点検を実施する必要があるため、点検を行うものである

2 業務場所

- | | | | |
|-----|-------|-----|-------------|
| (1) | 東部浄水場 | ・・・ | 熊谷市原島1031番地 |
| (2) | 北部浄水場 | ・・・ | 熊谷市今井945番地 |
| (3) | 北部配水場 | ・・・ | 熊谷市今井462番地 |
| (4) | 江南浄水場 | ・・・ | 熊谷市成沢926番地 |

3 適用範囲

- (1) この仕様書は、地下燃料タンク点検業務に適用する。
- (2) 特記仕様書に記載されていない事項については、共通仕様書を優先する。

4 法令等の遵守

- (1) 業務を実施するにあたり、熊谷市水道事業で定める条例、規則他、「*関係法令」を遵守すること。
- (2) 資格者等（資格、検定、認定等）を必要とする作業は、当該資格を有するものに行わせるものとする。
- (3) 「*関係法令」とは、水道法、計量法、建築基準法、消防法、騒音規制法、電気事業法、電波法、電気通信事業法、道路交通法、道路法、労働基準法、労働安全衛生法、その他関係する法令、条例及び規則をいう。

5 点検業務の目的を達成するために、発注者は必要に応じて 次の事項を供与する。

- (1) 電気量・水道水等の用役費、手洗い所・トイレの提供
- (2) 保守用部品・機材・工具・安全具等の保管場所の提供及び使用

7 一般事項

- (1) 点検結果は、項目ごとに結果数値を記録し、異常がある場合には、所見にてまとめること。所見にてまとめる際、異常箇所を修繕した場合にかかる概算費用も明記することとする。
- (2) 各年度期間終了までに、点検結果報告書・検査成績表・写真、また、発注者が必要とする書類を提出すること。
- (3) 点検業務を実施前・後に機器の保守に危険が伴うと予測される場合、受注者は発注者に報告する義務を要するものとする。

- (4) 点検業務で知り得た業務上の秘密を外部に漏洩、使用してはならない。また本契約終了後もその効力を有するものとする。
- (5) この仕様に掲載されない事項及び、疑義が生じた事項については、発注者に報告し協議の上、発注者が定めるものとする。ただし、明示されていないものであっても、当然必要と認められているものについては、「受注者」の責任において履行しなければならない。

8 保守点検対象設備

(1) 東部浄水場

住 所：熊谷市原島 1 0 3 1 番地

設 備：地下燃料タンク（ピット型地下埋設式）

貯蔵物：灯油

容 量：7, 0 0 0 ℓ

塗覆装：アスファルトプライマー塗

年月日：1 9 8 6 年 1 1 月 7 日

(2) 北部浄水場

住 所：熊谷市今井 9 4 5 番地

設 備：少量危険物取扱貯蔵所（ピット型地下埋設式）

貯蔵物：A 重油

容 量：1, 9 5 0 ℓ

塗覆装：アスファルトプライマー塗

年月日：1 9 7 7 年 3 月 2 4 日

(3) 北部配水場

住 所：熊谷市今井 4 6 2 番地

設 備：地下燃料タンク（ピット型地下埋設式）

貯蔵物：軽油

容 量：3, 0 0 0 ℓ

塗覆装：アスファルトプライマー塗

年月日：2 0 0 2 年 1 2 月 2 7 日

(4) 江南浄水場

住 所：熊谷市成沢 9 2 6 番地

設 備：地下燃料タンク（ピット型地下埋設式）

貯蔵物：軽油

容 量：7, 0 0 0 ℓ

塗覆装：エポキシ樹脂

年月日：2 0 1 9 年 6 月 1 4 日

9 保守点検内容

「危険物の規制に関する規則」及び「危険物の規制に関する技術上の基準の細目を定める告示」に基づく点検

- (1) 気相部漏洩検査（微加圧法）
- (2) 液相部漏洩検査

10 保守点検報告

点検後、下記3点を2部作成し提出を行う。

- (1) 気密検査実施報告書
- (2) 製造所等定期点検記録表
- (3) 地下タンク貯蔵所点検表（点検含む）

（製造所等定期点検記録表、地下タンク貯蔵所点検表の2点については、消防署の指導による。）

11 業務数量 数量の詳細は別紙「地下燃料タンク点検業務 数量表」を参照のこと。

12 その他の特記事項

- (1) 検査の実施により、異常が発生した場合は、早急に監督員に報告し、補修方法を提示するものとする。
- (2) 作業主任者は、点検方法に関する知識及び技能を有し、点検に必要な危険物取扱者の資格を有する者が行うこととする。
- (3) 点検に使用する器具については、適正に整備されたものを使うこととする。
- (4) 仕様書に明記のない事項については、両者協議の上定めるものとする。ただし、明記のない事項であっても、当然必要とされる事項については、「受注者」の責任において施工しなければならない。

地下燃料タンク点検業務 数量表

【参考資料 3 - ⑥】

場所	項目		数量		(参考)	実施回数(契約期間)			
	種別	備考	数量	回数	R7上半期	R7下半期	R8	R9	R10上半期
東部浄水場	地下燃料タンク (ピット型地下埋設式) 1986年・灯油・7,000ℓ	気相部漏洩検査(微加圧法)	1 式	1 回	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
		液相部漏洩検査	1 式	1 回	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
北部浄水場	少量危険物取扱所 (ピット型地下埋設式) 1977年・A重油・1,950ℓ	気相部漏洩検査(微加圧法)	1 式	1 回	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
		液相部漏洩検査	1 式	1 回	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
北部配水場	地下燃料タンク (ピット型地下埋設式) 2002年・軽油・3,000ℓ	気相部漏洩検査(微加圧法)	1 式	1 回	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
		液相部漏洩検査	1 式	1 回	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
江南浄水場	地下燃料タンク (ピット型地下埋設式) 2019年・軽油・7,000ℓ	気相部漏洩検査(微加圧法)	1 式	1 回	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
		液相部漏洩検査	1 式	1 回	0 回	0 回	1 回	0 回	0 回

※ 点検内容等の詳細は特記仕様書を確認のこと。

※ 江南浄水場については、設置から15年未満のため、R8年度のみ対象。

消防用設備保守点検業務

特 記 仕 様 書

熊谷市上下水道部

1 適 用

本仕様書は、消防用設備保守点検業務に適用する。

2 業務目的

本業務は、本事業体が保有する各浄配水場のうち、消防法（昭和23年法律第186号）により点検の対象となる7機場について、消防用設備の点検、保守を実施し、もって消防設備の正常な機能の維持及び非常時の甚大な被害防止を図ることを目的として実施するものである。

3 業務場所

- | | |
|--------------|-------------|
| (1) 東部浄水場 | 熊谷市原島1031番地 |
| (2) 北部配水場 | 熊谷市今井462番地 |
| (3) 玉作浄水場 | 熊谷市玉作3518番地 |
| (4) 妻沼第1浄水場 | 熊谷市八木田523番地 |
| (5) 妻沼第2浄水場 | 熊谷市八ツ口174番地 |
| (6) 妻沼新第2浄水場 | 熊谷市八ツ口181番地 |
| (7) 江南浄水場 | 熊谷市成沢926番地 |

4 業務範囲

- (1) 消防法に定める事項の点検
- | | |
|-------------|------|
| ① 外観及び機能的保守 | 1回／年 |
| ② 総合点検 | 1回／年 |

5 業務数量

数量の詳細は別紙「消防用設備保守点検業務 数量表」を参照のこと。

6 点検日程の調整及び立会い

- (1) 受注者は点検を行う日程をあらかじめ監督員と協議しその承諾を得ること。
- (2) 東部浄水場については、土日及び祝日等の閉庁日に点検を行うものとする。
- (3) 業務の実施に際し、監督員の立会いが必要なものについては、あらかじめ監督員と協議しその承諾を得ること。

7 報告書の作成及び様式

- (1) 受注者は、点検報告書において対象物の数量及び設置場所等が容易に確認できるよう明記すること。
- (2) 受注者は、点検報告書については法令等に定めがある場合はその様式を使用すること。
- なお、受注者が点検の完了及び結果を発注者に早期に報告するために別途任意の様式を使用することは差し支えない。
- (3) 点検の結果、設備等に修繕等の必要が認められる場合は、監督員に報告、協議し、監督員の指示に基づいて当該箇所の修繕に係る見積書を提出すること。
- ただし、当該見積書の提出をもって受注者に修繕業務を行わせることを確約するものではないことに留意すること。

8 報告書の提出

- (1) 受注者は、機器点検及び総合点検の都度、速やかに発注者へ消防設備等点検結果報告書を提出すること。
- (2) 消防法施行規則に定める消防長または消防署長への点検結果の報告については、受注者が

代理で行うこと。

なお、報告書は正副各 1 部を作成し、副本は発注者へ提出すること。

- (3) 上記(2)については報告対象年度のみ適用し、それ以外の年度においては報告書を一部作成し、発注者へ提出するものとする。
- (4) 当該報告書の提出に関する詳細は、監督員と協議の上決定すること。

9 安全衛生管理

- (1) 受注者は、対象施設が水道施設であることを十分に認識し、安全衛生に細心の注意を払わなければならない。
- (2) 業務遂行にあたっては、常に細心の注意を払い、労働安全衛生法並びに関係法令を遵守し、公衆及び従業員の安全を図らなければならない。万一、事故が発生した場合は、速やかに監督員に報告しなければならない。

10 疑義の解釈

仕様書に明示されていない事項があるときは、協議を受け発注者が定めるものとする。

ただし、明示されていないものであっても、当然必要と認められるものについては、受注者の責任において実施しなければならない。

消防用設備保守点検業務 数量表

【参考資料 3 - ⑦】

2. 総合点検

場所	項目		数量			(参考)	実施回数(契約期間)			
	種別	備考	数量	回数	合計		R7上半期	R7下半期	R8	R9
東部浄水場	(1)消火器具		35 本	1 回	35 本	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
	(2)屋内消火設備		1 台	1 回	1 台	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
			1 面	1 回	1 面	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
			5 基	1 回	5 基	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
			1 式	1 回	1 式	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
			1 式	1 回	1 式	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
			1 式	1 回	1 式	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
			1 式	1 回	1 式	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
			1 台	1 回	1 台	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
	(3)自動火災報知設備		1 台	1 回	1 台	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
			58 個	1 回	58 個	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
			15 個	1 回	15 個	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
			18 個	1 回	18 個	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
		6 個	1 回	6 個	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回	
		6 個	1 回	6 個	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回	
		6 個	1 回	6 個	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回	
		1 式	1 回	1 式	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回	
		1 式	1 回	1 式	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回	
		1 式	1 回	1 式	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回	
		3 台	1 回	3 台	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回	
		1 式	1 回	1 式	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回	
		1 式	1 回	1 式	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回	
		1 式	1 回	1 式	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回	

消防用設備保守点検業務 数量表

【参考資料 3 - ⑦】

2. 総合点検

場所	項目		数量			(参考)	実施回数(契約期間)					
	種別	備考	数量	回数	合計		R7上半期	R7下半期	R8	R9	R10上半期	
北部配水場	(5)防火設備	消火栓	起動連動装置	1 式	1 回	1 式	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回	
		防火扉	自動開閉装置	4 枚	1 回	4 枚	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回	
		電源装置		1 式	1 回	1 式	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回	
		配線点検		1 式	1 回	1 式	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回	
	(6)避難器具	緩降機(ORIRO)		1 式	1 回	1 式	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回	
	(7)ハロゲン化物消火設備		1 式	1 回	1 式	1 回	0 回	1 回	1 回	1 回	1 回	
	(1)消火器具	消火器(加圧式)	7 本	1 回	7 本	0 回	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回	
	(2)自動火災報知設備	受信機		1 台	1 回	1 台	0 回	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
		差動式スポット型感知器		3 個	1 回	3 個	0 回	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
		煙感知器		12 個	1 回	12 個	0 回	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
		発信機		2 個	1 回	2 個	0 回	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
		表示灯		2 個	1 回	2 個	0 回	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
		電鈴		2 個	1 回	2 個	0 回	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
		電源装置		1 式	1 回	1 式	0 回	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
(3)誘導灯設備	予備電源		1 式	1 回	1 式	0 回	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回	
	配線点検		1 式	1 回	1 式	0 回	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回	
	誘導灯		3 台	1 回	3 台	0 回	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回	
	電源装置		1 式	1 回	1 式	0 回	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回	
	配線点検		1 式	1 回	1 式	0 回	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回	

消防用設備保守点検業務 数量表

【参考資料3-⑦】

2. 総合点検

場所	項目		数量			(参考)	実施回数(契約期間)			
	種別	備考	数量	回数	合計		R7上半期	R7下半期	R8	R9
玉作浄水場	(1)消火器具		16 本	1 回	16 本	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
	(2)自動火災報知設備		1 台	1 回	1 台	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
		定温式スポット型感知器	46 個	1 回	46 個	0 回	0 回	1 回	1 回	0 回
		煙感知器	20 個	1 回	20 個	0 回	0 回	1 回	1 回	0 回
		発信機	2 個	1 回	2 個	0 回	0 回	1 回	1 回	0 回
		表示灯	2 個	1 回	2 個	0 回	0 回	1 回	1 回	0 回
		電鈴	2 個	1 回	2 個	0 回	0 回	1 回	1 回	0 回
		電源装置	1 式	1 回	1 式	0 回	0 回	1 回	1 回	0 回
		予備電源	1 式	1 回	1 式	0 回	0 回	1 回	1 回	0 回
		配線点検	1 式	1 回	1 式	0 回	0 回	1 回	1 回	0 回
	(3)誘導灯設備		12 台	1 回	12 台	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
		電源装置	1 式	1 回	1 式	0 回	0 回	1 回	1 回	0 回
		配線点検	1 式	1 回	1 式	0 回	0 回	1 回	1 回	0 回
	(1)消火器具		11 本	1 回	11 本	0 回	0 回	1 回	1 回	0 回
妻沼第1浄水場	(2)非常警報器具		2 台	1 回	2 台	0 回	0 回	1 回	1 回	0 回
		電源装置	1 式	1 回	1 式	0 回	0 回	1 回	1 回	0 回
		予備電源	1 式	1 回	1 式	0 回	0 回	1 回	1 回	0 回
		配線点検	1 式	1 回	1 式	0 回	0 回	1 回	1 回	0 回
妻沼第2浄水場	(1)消火器具		3 本	1 回	3 本	0 回	0 回	1 回	1 回	0 回
妻沼新第2浄水場	(1)消火器具		10 本	1 回	10 本	0 回	0 回	1 回	1 回	0 回

2. 総合点検

場所	項目		数量			(参考)	実施回数(契約期間)				
	種別	備考	数量	回数	合計		R7上半期	R7下半期	R8	R9	R10上半期
江南浄水場	(1)消火器具		13 本	1 回	13 本	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回	
	(2)自動火災報知設備	受信機	1 台	1 回	1 台	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回	
		差動式スポット型感知器	4 個	1 回	4 個	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回	
		煙感知器	11 個	1 回	11 個	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回	
		発信機	1 個	1 回	1 個	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回	
		表示灯	2 個	1 回	2 個	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回	
		電鈴	2 個	1 回	2 個	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回	
		電源装置	1 式	1 回	1 式	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回	
		予備電源	1 式	1 回	1 式	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回	
		配線点検	1 式	1 回	1 式	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回	
		(3)誘導灯設備	誘導灯	11 台	1 回	11 台	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
			電源装置	1 式	1 回	1 式	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
			配線点検	1 式	1 回	1 式	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回

建築基準法に基づく
防火設備保守点検業務

特 記 仕 様 書

熊谷市上下水道部

1 適 用

本仕様書は、建築基準法に基づく防火設備保守点検業務に適用する。

2 業務目的

本業務は、本事業体が保有する各浄配水場のうち、建築基準法に基づく防火設備点検の対象となる東部浄水場管理棟に設置された防火扉について、正常な機能の維持及び非常時の甚大な被害防止を図ることを目的として実施するものである。

3 業務場所 熊谷市原島 1 0 3 1 番地（東部浄水場）

4 業務範囲 建築基準法に定める事項の点検 1 回／年度

5 業務数量 数量の詳細は別紙「建築基準法に基づく防火設備保守点検業務 数量表」を参照のこと。

6 点検日程の調整及び立会い

- (1) 受注者は点検を行う日程をあらかじめ監督員と協議しその承諾を得ること。
- (2) 点検については、土日及び祝日等の閉庁日に行うものとする。
- (3) 業務の実施に際し、監督員の立会いが必要なものについては、あらかじめ監督員と協議しその承諾を得ること。

7 報告書の作成及び様式

- (1) 受注者は、点検報告書において対象物の数量及び設置場所等が容易に確認できるよう明記すること。
- (2) 受注者は、点検報告書については法令等に定めがある場合はその様式を使用すること。
なお、受注者が点検の完了及び結果を発注者に早期に報告するために別途任意の様式を使用することは差し支えない。
- (3) 点検の結果、設備等に修繕等の必要が認められる場合は、監督員に報告、協議し、監督員の指示に基づいて当該箇所の修繕に係る見積書を提出すること。
ただし、当該見積書の提出をもって受注者に修繕業務を行わせることを確約するものではないことに留意すること。

8 報告書の提出

- (1) 受注者は、点検実施後速やかに発注者へ点検結果報告書を提出すること。
- (3) 当該報告書の提出に関する詳細は、監督員と協議の上決定すること。

9 安全衛生管理

- (1) 受注者は、対象施設が水道施設であることを十分に認識し、安全衛生に細心の注意を払わなければならない。
- (2) 業務遂行にあたっては、常に細心の注意を払い、労働安全衛生法並びに関係法令を遵守し、公衆及び従業員の安全を図らなければならない。万一、事故が発生した場合は、速やかに監督員に報告しなければならない。

10 疑義の解釈

仕様書に明示されていない事項があるときは、協議を受け発注者が定めるものとする。

ただし、明示されていないものであっても、当然必要と認められるものについては、受注者の責任において実施しなければならない。

12 その他の特記事項

- (1) 建築基準法第12条第1項に定める特定行政庁への報告は不要。

場所	項目		数量		(参考)	実施回数(契約期間)			
	種別	備考	数量	回数		R7下半期	R8	R9	R10上半期
東部浄水場	管理棟1階	防火扉	2 基	1 回	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
	管理棟2階	防火扉	1 基	1 回	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
	管理棟3階	防火扉	1 基	1 回	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回

※ 点検対象機器等の詳細は特記仕様書を確認のこと。

第 1 種特定製品定期点検業務

特 記 仕 様 書

熊谷市上下水道部

特 記 仕 様 書

1 適 用

本仕様書は、第1種特定製品定期点検業務に適用する。

2 業務目的

本業務は、各浄配水場施設に設置されたエアコンディショナーのうち、定格出力7.5キロワット以上のエアコンディショナー（以下、「管理第1種特定製品」）に対し、定期点検を実施するものである。

管理第1種特定製品の定期点検は、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（通称：フロン抑制法）第2条及び第16条、並びに「第1種特定製品の管理者の判断の基準となるべき事項」第2の規定において3年に1回以上の専門点検が義務付けられている。

3 業務範囲

- (1) 「管理第1種特定製品」からの異常音についての検査
- (2) 「管理第1種特定製品」の外観の損傷、摩耗、腐敗及びさびその他の劣化、油漏れ並びに熱交換器への霜の付着の有無についての目視による検査
- (3) 直接法、間接法又はこれを組み合わせた方法による専門的な冷媒漏洩検査
- (4) 委託者の指示する書類の提出

※ 点検回数等の詳細は、別紙「第1種特定製品定期点検業務 数量表」を参照のこと。

4 点検対象設備

- (1) 東部浄水場（熊谷市原島1031番地） 2台

ア 設置場所：管理棟3階 電気室

- ① メーカー：ダイキン
- ② 製造年月：平成4年5月
- ③ 製品分類：パッケージエアコン
- ④ 型 式：SR25JB
- ⑤ 製品番号：6200004
- ⑥ 用 途：空調
- ⑦ 定格出力：16kw
- ⑧ 冷媒種類：R22
- ⑨ 初期充填量：20.6kg

イ 設置場所：管理棟3階 電気室

- ① メーカー：ダイキン
- ② 製造年月：令和4年3月
- ③ 製品分類：パッケージエアコン
- ④ 型 式：SRYP560B
- ⑤ 製品番号：A001754
- ⑥ 用 途：空調
- ⑦ 定格出力：13.2kw
- ⑧ 冷媒種類：R410A
- ⑨ 初期充填量：17.9kg

- (2) 北部配水場（熊谷市今井462番地） 3台

ア 設置場所：1階 電気室（東）

- ① メーカー：日立
- ② 製造年月：平成14年2月
- ③ 製品分類：パッケージエアコン

- ④ 型 式：RP-J280A2
- ⑤ 製品番号：U4SS8703
- ⑥ 用 途：空調
- ⑦ 定格出力：7.5kw
- ⑧ 冷媒種類：R22
- ⑨ 初期充填量：10.8kg

イ 設置場所：1階 電気室（南）

- ① メーカー：日立
- ② 製造年月：平成14年2月
- ③ 製品分類：パッケージエアコン
- ④ 型 式：RP-J280A2
- ⑤ 製品番号：U4SM2164
- ⑥ 用 途：空調
- ⑦ 定格出力：7.5kw
- ⑧ 冷媒種類：R22
- ⑨ 初期充填量：10.8kg

ウ 設置場所：2階 監視室（北）

- ① メーカー：日立
- ② 製造年月：平成14年2月
- ③ 製品分類：パッケージエアコン
- ④ 型 式：RP-J280A2
- ⑤ 製品番号：U4SS8700
- ⑥ 用 途：空調
- ⑦ 定格出力：7.5kw
- ⑧ 冷媒種類：R22
- ⑨ 初期充填量：10.8kg

5 事故等の措置

- (1) 本業務に係る点検作業は、安全確保のため2人以上で行うこと。
- (2) 事故等の緊急事態に備え、適切な処理が行えるような体制を確保すること。
- (3) 事故及び不具合等が発生した場合は、臨時点検を行うこと。

第1種特定製品定期点検業務 数量表

【参考資料3－⑨】

場所	項目		数量		(参考) R7上半期	実施回数(契約期間)			
	種別	備考	数量	回数		R7下半期	R8	R9	R10上半期
東部浄水場	管理棟3階電気室	ダイキン(型式：SR25JB)	1 台	1 回	0 回	0 回	1 回	0 回	0 回
		ダイキン(型式：SRYP560B)	1 台	1 回	0 回	0 回	1 回	0 回	0 回
北部配水場	管理棟1階電気室(東)	日立(型式：RP-J280A2)	1 台	1 回	0 回	0 回	1 回	0 回	0 回
	管理棟1階電気室(南)	日立(型式：RP-J280A2)	1 台	1 回	0 回	0 回	1 回	0 回	0 回
	管理棟2階監視室(北)	日立(型式：RP-J280A2)	1 台	1 回	0 回	0 回	1 回	0 回	0 回

※ 点検対象機器等の詳細は特記仕様書を確認のこと。

※ 3年に1回の定期点検(次回はR8年度)

【参考資料 3－⑩】

熊谷地区浄配水場等緑地管理業務

特 記 仕 様 書

熊谷市上下水道部水道課

1 適用範囲

- (1) 本仕様書は、熊谷地区浄配水場等緑地管理業務の履行に必要な一般的事項を定めたものである。
- (2) 本仕様書に定めのない事項は「埼玉県土木工事共通仕様書」による。
- (3) 作業工程は、監督員と密に連絡を取り、十分な打合せをすること。また、作業を予定している日は、毎朝、着手前に監督員へ連絡すること。
- (4) 作業の実施に当たっては、本仕様書のほか、数量表に基づき履行しなければならない。

2 業務場所

- | | |
|---------------|---------------------|
| (1) 東部浄水場 | 熊谷市原島 1 0 3 1 番地 |
| (2) 北部浄水場 | 熊谷市今井 9 4 5 番地 |
| (3) 北部配水場 | 熊谷市今井 4 6 2 番地 |
| (4) 西部浄水場 | 熊谷市拾六間 2 2 番地 2 |
| (5) 西部配水場 | 熊谷市新堀 4 3 1 番地 |
| (6) 御稜威ヶ原配水場 | 熊谷市御稜威ヶ原 5 2 1 番地 4 |
| (7) 吉岡浄水場 | 熊谷市楊井 1 8 1 6 番地 2 |
| (8) 吉岡配水場 | 熊谷市楊井 1 8 2 6 番地 1 |
| (9) 西部第 2 水源 | 熊谷市三ヶ尻 2 4 9 6 番地 |
| (10) 西部第 3 水源 | 熊谷市三ヶ尻 2 1 2 7 番地 1 |
| (11) 西部第 5 水源 | 熊谷市三ヶ尻 2 3 2 3 番地 |
| (12) 西部第 6 水源 | 熊谷市新堀新田 9 0 番地 1 |

3 業務数量 数量の詳細は別紙「熊谷地区緑地管理業務 数量表」を参照のこと。

4 業務仕様

(1) 除草工（抜取、手刈、機械）

- ① 刈高、仕上げの程度については、事前に監督員と協議し承諾を得ること。
なお、機械刈りに先立って、敷地内の塵等の除去をすること。
- ② 草刈り対象区域で樹木・株物等の植えてある場所は、幹や枝に傷をつけないよう十分注意して幹の根元まで刈り取り、ツタ・落ち葉等をかき取り清掃すること。
- ③ 機械刈りによる場合においても、樹木や器物等支障物の周辺は補正手刈りを行うこと。
- ④ 業務時期は、発注者が指定する時期に草丈の状況を判断し、適切な時期に実施できるよう注意し、所定回数を刈取ること。着手後は迅速な施行に心掛けること。

(2) 芝刈工

- ① 作業にあたっては、事前に刈込み高を監督員と協議した後、芝刈りを行うこと。
- ② 機械（エンジン付）芝刈機及び肩掛式草刈機等で、刈むら及び刈残しのないよう均一に刈込むこと。
- ③ 作業対象区域で樹木・株物等の植えてある場所は、幹や枝に傷をつけないよう十分注意して幹の根元まで刈り取り、ツタ・落ち葉等をかき取り清掃すること。
- ④ 業務時期は、発注者が指定する時期に芝丈の状況を判断し、適切な時期に実施できるよ

う注意し、所定回数を刈取ること。着手後は迅速な施行に心掛けること。

(3) 刈草・刈芝等処分工

- ① 発生した刈草・刈芝等は風などにより散乱しないよう寄せ集め・運搬・清掃等を行い受注者の責任と負担で全て場外へ搬出すること。

(4) 樹木剪定工

- ① 樹木にとって、剪定による悪影響を生ずることがない時期に作業すること。
- ② 樹木の剪定、整枝は、樹種本来の形（円柱状・逆円錐状・卵状・球状・広卵状等）を維持すること。
- ③ 剪定した枝は、速やかに処理し、剪定した樹木周辺の清掃を実施すること。
- ④ 樹冠の成長を均一にするため、頂上枝葉は少なく、下方枝は多く残すこと。
- ⑤ 玉物類及び生け垣類の剪定は、根本廻りの芝生、雑草の除去及び枯れ落ちた枝等の除去も行うこと。
- ⑥ 松類の剪定にあたっては、樹木の健全な育成を図るばかりでなく、美観も高めるように特に留意して剪定を行うこと。
- ⑦ その他の剪定作業の詳細については、監督員の指示による。

(5) 刈込工（玉物・生垣等）

- ① 刈取った枝葉が樹冠内等に残らないよう、全て取去ること。
- ② 刈取った枝葉はすみやかに処分し、刈り込んだ樹木等の周辺の清掃を実施すること。
- ③ 花木類の刈込みについては、花芽分化の時期に十分注意して行うこと。

(6) 剪定枝・刈込枝葉等処理工

- ① 発生した剪定枝・刈込枝葉等は風などにより散乱しないよう寄せ集め・運搬・清掃等を行い受注者の責任と負担で全て場外へ搬出すること。
- ② 剪定した枝（葉付のもの含む）のみの処理は、関係法令及び条例等を遵守し、熊谷市一般廃棄物処分業許可業者且つ、リサイクル可能な業者へ搬入すること。

(7) 支障木伐採

- ① 管理上支障となる樹木を根元からチェーンソー等で切り倒すものであるため、作業者は足下を整理し、十分な安全策を講じ作業すること。
なお、伐採木の根株は、人が躓いたりする危険がないように、監督員と協議し処理すること。
- ② 伐採木の処分方法については、関係法令及び条例等を遵守し、熊谷市一般廃棄物処分業許可業者且つ、リサイクル可能な業者へ搬入すること。

(8) 清掃工

- ① 集積したゴミ・落葉等の処分は刈草・刈芝等処分工に準じて行うこと。

(9) 共通事項

- ① 業務の実施にあたり契約書の仕様書等を完全に理解し、堅実で正確な作業をしなければならない。
- ② 業務計画書を作成し、契約後2週間以内に監督員に提出すること。
- ③ 現場責任者は、必ず受注者名を入れた腕章をつけ、業務委託の作業中は現場に常駐すること。但し、現場責任者が現場を離れる時は、代理の責任者を必ず置くこと。
- ④ 除草に伴う借地、地元との調整等は、受注者の責任において行うこと。

- ⑤ 除草作業に伴い、第三者への被害が懸念される場合は、事前に連絡を行うこと。また、浄配水施設及び、民地に接する部分（ブロック、タイル等）の破損等は、受注者の責任において対応すること。

また、受注者の責任と認められない場合は、これを証する書類を提出すること。

- ⑥ 水道施設の構内には立ち上がりバルブ、ケーブル、標識、埋設杭等があるため注意して施行すること。
- ⑦ 芝刈・除草作業にあたっては、小石等が飛散しないように十分注意し、必要に応じて飛散防止措置を施すこと。
- ⑧ 業務場所内の沈澱池・ろ過池・開渠等に刈草・切枝・散布薬剤等が飛散しないよう十分注意し作業を行うこと。

また、敷地境界付近では、刈草・切枝・散布薬剤等が構外に飛散しないよう注意し、必要な措置を行い、刈芝・切枝等を構外に飛散させた場合は、受注者の責任において取り除くこと。

5 その他

- (1) 業務場所のうち、西部浄水場における業務の実施日程については、予定月の第2木曜日を避けること。
- (2) 防草シート補修工の実施にあたっては、実施予定月の2か月前までに必要な使用材料の概数を監督員に報告し、材料の支給を受けること。

場所	項目		数量			(参考)	実施回数(契約期間)			
	種別	備考	数量	回数	合計		R7上半期	R7下半期	R8	R9
東部浄水場	芝生刈込		7,133 ㎡	4 回	28,532 ㎡	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
	機械除草		99 ㎡	4 回	396 ㎡	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
	低木剪定	玉物(寄植)	138 ㎡	1 回	138 ㎡	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
	高木剪定	針葉樹(幹周60cm以上90cm未満)	98 本	1 回	98 本	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
		常緑樹(幹周90cm以上120cm未満)	1 本	1 回	1 本	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
	防草シート補修工	材料支給	1 式	1 回	1 式	1 回	0 回	1 回	1 回	1 回
北部浄水場	機械除草		183 ㎡	4 回	732 ㎡	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
北部配水場	機械除草		2,037 ㎡	4 回	8,148 ㎡	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
	防草シート補修工	材料支給	1 式	1 回	1 式	1 回	0 回	1 回	1 回	1 回
西部浄水場	芝生刈込		1,245 ㎡	4 回	4,980 ㎡	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
	機械除草		661 ㎡	4 回	2,644 ㎡	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
西部配水場	芝生刈込		3,434 ㎡	4 回	13,736 ㎡	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
	機械除草		740 ㎡	4 回	2,960 ㎡	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
御稜威ヶ原配水場	高木剪定	常緑樹(幹周15cm以上30cm未満)	53 本	1 回	53 本	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
	機械除草		143 ㎡	4 回	572 ㎡	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
	高木剪定	常緑樹(幹周15cm以上30cm未満)	60 本	1 回	60 本	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
	生垣選定	1.5m～	60 m	1 回	60 m	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
吉岡浄水場	機械除草		300 ㎡	4 回	1,200 ㎡	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
吉岡配水場	機械除草	植込み内	279 ㎡	4 回	1,116 ㎡	0 回	1 回	4 回	4 回	3 回
	機械除草	配水池法面	48 ㎡	4 回	192 ㎡	0 回	1 回	4 回	4 回	3 回
	機械除草	配水池天面	398 ㎡	4 回	1,592 ㎡	0 回	1 回	4 回	4 回	3 回
	高木剪定	常緑樹(幹周15cm以上30cm未満)	39 本	1 回	39 本	0 回	0 回	1 回	1 回	0 回

場所	項目		数量			(参考)	実施回数(契約期間)				
	種別	備考	数量	回数	合計		R7上半期	R7下半期	R8	R9	R10上半期
西部第2水源	機械除草		56 ㎡	4 回	224 ㎡	3 回	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
西部第3水源	機械除草		166 ㎡	4 回	664 ㎡	3 回	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
西部第5水源	機械除草		69 ㎡	4 回	276 ㎡	3 回	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
西部第6水源	機械除草		10 ㎡	4 回	40 ㎡	3 回	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
(仮)お客様センター用地 ※2	芝生刈込		5,000 ㎡	4 回	20,000 ㎡	1 回	1 回	0 回	0 回	0 回	0 回
処分費 ※1	芝・雑草等				t			t	t	t	t
	剪定枝				t			t	t	t	t

※1 処分費については、下記の実績を参考に適宜設定すること。

年度	R4	R5	R6
芝・雑草等	15.0	11.0	11.0
剪定枝	4.9	4.0	4.4

(単位：t)

※2 (仮)お客様センター用地については、令和8年度のみ対象とする。

【参考資料 3－⑩】

大里地区浄配水場等緑地管理業務

特 記 仕 様 書

熊谷市上下水道部水道課

1 適用範囲

- (1) 本仕様書は、大里地区浄配水場等緑地管理業務の履行に必要な一般的事項を定めたものである。
- (2) 本仕様書に定めのない事項は「埼玉県土木工事共通仕様書」による。
- (3) 作業工程は、監督員と密に連絡を取り、十分な打合せをすること。また、作業を予定している日は、毎朝、着手前に監督員へ連絡すること。
- (4) 作業の実施に当たっては、本仕様書のほか、数量表に基づき履行しなければならない。

2 業務場所

- (1) 玉作浄水場…………… 熊谷市玉作 3 5 1 8 番地
- (2) 冑山配水場…………… 熊谷市冑山 9 番地 1 3
- (3) 上恩田浄水場…………… 熊谷市上恩田 2 5 4 番地
- (4) 大里第 5 水源…………… 熊谷市津田 1 4 3 5 番地 3
- (5) 大里第 6 水源…………… 熊谷市津田 1 6 9 8 番地 4

3 業務数量 数量の詳細は別紙「大里地区緑地管理業務 数量表」を参照のこと。

4 業務仕様

(1) 除草工（抜取、手刈、機械）

- ① 刈高、仕上げの程度については、事前に監督員と協議し承諾を得ること。
なお、機械刈りに先立って、敷地内の塵等の除去をすること。
- ② 草刈り対象区域で樹木・株物等の植えてある場所は、幹や枝に傷をつけないよう十分注意して幹の根元まで刈り取り、ツタ・落ち葉等をかき取り清掃すること。
- ③ 機械刈りによる場合においても、樹木や器物等支障物の周辺は補正手刈りを行うこと。
- ④ 業務時期は、発注者が指定する時期に草丈の状況を判断し、適切な時期に実施できるよう注意し、所定回数を刈取ること。着手後は迅速な施行に心掛けること。

(2) 芝刈工

- ① 作業にあたっては、事前に刈込み高を監督員と協議した後、芝刈りを行うこと。
- ② 機械（エンジン付）芝刈機及び肩掛式草刈機等で、刈むら及び刈残しのないよう均一に刈込むこと。
- ③ 作業対象区域で樹木・株物等の植えてある場所は、幹や枝に傷をつけないよう十分注意して幹の根元まで刈り取り、ツタ・落ち葉等をかき取り清掃すること。
- ④ 業務時期は、発注者が指定する時期に芝丈の状況を判断し、適切な時期に実施できるよう注意し、所定回数を刈取ること。着手後は迅速な施行に心掛けること。

(3) 刈草・刈芝等処分工

- ① 発生した刈草・刈芝等は風などにより散乱しないよう寄せ集め・運搬・清掃等を行い発注者の責任と負担で全て場外へ搬出すること。

(4) 樹木剪定工

- ① 樹木にとって、剪定による悪影響を生ずることがない時期に作業すること。
- ② 樹木の剪定、整枝は、樹種本来の形（円柱状・逆円錐状・卵状・球状・広卵状等）を維

持すること。

- ③ 剪定した枝は、速やかに処理し、剪定した樹木周辺の清掃を実施すること。
 - ④ 樹冠の成長を均一にするため、頂上枝葉は少なく、下方枝は多く残すこと。
 - ⑤ 玉物類及び生け垣類の剪定は、根本廻りの芝生、雑草の除去及び枯れ落ちた枝等の除去も行うこと。
 - ⑥ 松類の剪定にあたっては、樹木の健全な育成を図るばかりでなく、美観も高めるように特に留意して剪定を行うこと。
 - ⑦ その他の剪定作業の詳細については、監督員の指示による。
- (5) 刈込工（玉物・生垣等）
- ① 刈取った枝葉が樹冠内等に残らないよう、全て取去ること。
 - ② 刈取った枝葉はすみやかに処分し、刈り込んだ樹木等の周辺の清掃を実施すること。
 - ③ 花木類の刈込みについては、花芽分化の時期に十分注意して行うこと。
- (6) 剪定枝・刈込枝葉等処理工
- ① 発生した剪定枝・刈込枝葉等は風などにより散乱しないよう寄せ集め・運搬・清掃等を行い受注者の責任と負担で全て場外へ搬出すること。
 - ② 剪定した枝(葉付のもの含む)のみの処理は、関係法令及び条例等を遵守し、熊谷市一般廃棄物処分業許可業者且つ、リサイクル可能な業者へ搬入すること。
- (7) 支障木伐採
- ① 管理上支障となる樹木を根元からチェーンソー等で切り倒すものであるため、作業者は足下を整理し、十分な安全策を講じ作業すること。
なお、伐採木の根株は、人が躓いたりする危険がないように、監督員と協議し処理すること。
 - ② 伐採木の処分方法については、関係法令及び条例等を遵守し、熊谷市一般廃棄物処分業許可業者且つ、リサイクル可能な業者へ搬入すること。
- (8) 清掃工
- ① 集積したゴミ・落葉等の処分は刈草・刈芝等処分工に準じて行うこと。
- (9) 共通事項
- ① 業務の実施にあたり契約書の仕様書等を完全に理解し、堅実で正確な作業をしなければならない。
 - ② 業務計画書を作成し、契約後2週間以内に監督員に提出すること。
 - ③ 現場責任者は、必ず受注者名を入れた腕章をつけ、業務委託の作業中は現場に常駐すること。但し、現場責任者が現場を離れる時は、代理の責任者を必ず置くこと。
 - ④ 除草に伴う借地、地元との調整等は、受注者の責任において行うこと。
 - ⑤ 除草作業に伴い、第三者への被害が懸念される場合は、事前に連絡を行うこと。また、浄配水施設及び、民地に接する部分（ブロック、タイル等）の破損等は、受注者の責任において対応すること。
また、受注者の責任と認められない場合は、これを証する書類を提出すること。
 - ⑥ 水道施設の構内には立ち上がりバルブ、ケーブル、標識、埋設杭等があるため注意して施行すること。
 - ⑦ 芝刈・除草作業にあたっては、小石等が飛散しないように十分注意し、必要に応じて飛

散防止措置を施すこと。

- ⑧ 業務場所内の沈澱池・ろ過池・開渠等に刈草・切枝・散布薬剤等が飛散しないよう十分注意し作業を行うこと。

また、敷地境界付近では、刈草・切枝・散布薬剤等が構外に飛散しないよう注意し、必要な措置を行い、刈草・切枝等を構外に飛散させた場合は、受注者の責任において取り除くこと。

- 5 その他 防草シート補修工の実施にあたっては、実施予定月の2か月前までに必要な使用材料の概数を監督員に報告し、材料の支給を受けること。

場所	項目		備考	数量		(参考)	実施回数(契約期間)				
	種別			数量	回数		合計	R7上半期	R7下半期	R8	R9
玉作浄水場	機械除草			1,332 ㎡	4 回	5,328 ㎡	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
	人力除草		構造物周辺	301 ㎡	4 回	1,204 ㎡	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
	高木剪定		落葉広葉樹(幹周30cm以上60cm未満)	9 本	1 回	9 本	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
			常緑広葉樹(幹周30cm以上60cm未満)	15 本	1 回	15 本	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
			針葉樹(幹周30cm以上60cm未満)	1 本	1 回	1 本	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
青山配水場	生垣選定		機械刈(150cm以上)	60 m	1 回	60 m	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
			機械刈(150cm以上)	17 m	1 回	17 m	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
	防草シート補修工		材料支給	1 式	1 回	1 式	1 回	0 回	1 回	1 回	1 回
	機械除草		線の除草(構造物周辺)	140 ㎡	4 回	560 ㎡	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
	人力除草		線の除草(タイル及び砂利部)	83 ㎡	4 回	332 ㎡	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
上恩田浄水場	集草		落ち葉	1,450 ㎡	1 回	1,450 ㎡	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
	機械除草			1,012 ㎡	4 回	4,048 ㎡	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
	高木剪定		落葉広葉樹(幹周60cm以上90cm未満)	5 本	1 回	5 本	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
	低木剪定		玉物(120cm以上)	5 株	1 回	5 株	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
	側溝清掃			26 ㎡	1 回	26 ㎡	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
大里第5水源	防草シート補修工		材料支給	1 式	1 回	1 式	1 回	0 回	1 回	1 回	1 回
	機械除草			21 ㎡	4 回	84 ㎡	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
大里第6水源	防草シート補修工		材料支給	1 式	1 回	1 式	1 回	0 回	1 回	1 回	1 回
	機械除草			44 ㎡	4 回	176 ㎡	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
	防草シート補修工		材料支給	1 式	1 回	1 式	1 回	0 回	1 回	1 回	1 回

場所	項目		数量			(参考)	実施回数(契約期間)			
	種別	備考	数量	回数	合計	R7上半期	R7下半期	R8	R9	R10上半期
処分費 ※1	芝・雑草等				t		t	t	t	t
	剪定枝				t		t	t	t	t

※ 処分費については、下記の実績を参考に適宜設定すること。

年度	R4	R5	R6
芝・雑草等	4.0	4.7	5.7
剪定枝	3.8	1.4	4.5

(単位：t)

【参考資料 3－⑩】

妻沼地区浄配水場等緑地管理業務

特 記 仕 様 書

熊谷市上下水道部水道課

1 適用範囲

- (1) 本仕様書は、妻沼地区浄配水場等緑地管理業務の履行に必要な一般的事項を定めたものである。
- (2) 本仕様書に定めのない事項は「埼玉県土木工事共通仕様書」による。
- (3) 作業工程は、監督員と密に連絡を取り、十分な打合せをすること。また、作業を予定している日は、毎朝、着手前に監督員へ連絡すること。
- (4) 作業の実施に当たっては、本仕様書のほか、数量表に基づき履行しなければならない。

2 業務場所

- | | |
|---------------|---------------|
| (1) 妻沼第1浄水場 | 熊谷市八木田523番地 |
| (2) 妻沼第2浄水場 | 熊谷市八ツ口174番地 |
| (3) 妻沼新第2浄水場 | 熊谷市八ツ口181番地 |
| (4) 妻沼第2水源 | 熊谷市弥藤吾2194番地6 |
| (5) 妻沼第3水源 | 熊谷市飯塚720番地 |
| (6) 妻沼第5水源 | 熊谷市八ツ口391番地4 |
| (7) 妻沼第6水源 | 熊谷市八木田724番地 |
| (8) 妻沼第5水源 | 熊谷市八ツ口564番地 |
| (9) 妻沼第8水源用地 | 熊谷市西城1091番2 |
| (10) 妻沼第9水源用地 | 熊谷市西城1186番 |

3 業務数量 数量の詳細は別紙「妻沼地区緑地管理業務 数量表」を参照のこと。

4 業務仕様

(1) 除草工（抜取、手刈、機械）

- ① 刈高、仕上げの程度については、事前に監督員と協議し承諾を得ること。
なお、機械刈りに先立って、敷地内の塵等の除去をすること。
- ② 草刈り対象区域で樹木・株物等の植えてある場所は、幹や枝に傷をつけないよう十分注意して幹の根元まで刈り取り、ツタ・落ち葉等をかき取り清掃すること。
- ③ 機械刈りによる場合においても、樹木や器物等支障物の周辺は補正手刈りを行うこと。
- ④ 業務時期は、発注者が指定する時期に草丈の状況を判断し、適切な時期に実施できるよう注意し、所定回数を刈取ること。着手後は迅速な施行に心掛けること。

(2) 芝刈工

- ① 作業にあたっては、事前に刈込み高を監督員と協議した後、芝刈りを行うこと。
- ② 機械（エンジン付）芝刈機及び肩掛式草刈機等で、刈むら及び刈残しのないよう均一に刈込むこと。
- ③ 作業対象区域で樹木・株物等の植えてある場所は、幹や枝に傷をつけないよう十分注意して幹の根元まで刈り取り、ツタ・落ち葉等をかき取り清掃すること。
- ④ 業務時期は、発注者が指定する時期に芝丈の状況を判断し、適切な時期に実施できるよう注意し、所定回数を刈取ること。着手後は迅速な施行に心掛けること。

(3) 刈草・刈芝等処分工

- ① 発生した刈草・刈芝等は風などにより散乱しないよう寄せ集め・運搬・清掃等を行い受注者の責任と負担で全て場外へ搬出すること。

(4) 樹木剪定工

- ① 樹木にとって、剪定による悪影響を生ずることがない時期に作業すること。
- ② 樹木の剪定、整枝は、樹種本来の形（円柱状・逆円錐状・卵状・球状・広卵状等）を維持すること。
- ③ 剪定した枝は、速やかに処理し、剪定した樹木周辺の清掃を実施すること。
- ④ 樹冠の成長を均一にするため、頂上枝葉は少なく、下方枝は多く残すこと。
- ⑤ 玉物類及び生け垣類の剪定は、根本廻りの芝生、雑草の除去及び枯れ落ちた枝等の除去も行うこと。
- ⑥ 松類の剪定にあたっては、樹木の健全な育成を図るばかりでなく、美観も高めるように特に留意して剪定を行うこと。
- ⑦ その他の剪定作業の詳細については、監督員の指示による。

(5) 刈込工（玉物・生垣等）

- ① 刈取った枝葉が樹冠内等に残らないよう、全て取去ること。
- ② 刈取った枝葉はすみやかに処分し、刈り込んだ樹木等の周辺の清掃を実施すること。
- ③ 花木類の刈込みについては、花芽分化の時期に十分注意して行うこと。

(6) 剪定枝・刈込枝葉等処理工

- ① 発生した剪定枝・刈込枝葉等は風などにより散乱しないよう寄せ集め・運搬・清掃等を行い受注者の責任と負担で全て場外へ搬出すること。
- ② 剪定した枝（葉付のもの含む）のみの処理は、関係法令及び条例等を遵守し、熊谷市一般廃棄物処分業許可業者且つ、リサイクル可能な業者へ搬入すること。

(7) 支障木伐採

- ① 管理上支障となる樹木を根元からチェーンソー等で切り倒すものであるため、作業者は足下を整理し、十分な安全策を講じ作業すること。
なお、伐採木の根株は、人が躓いたりする危険がないように、監督員と協議し処理すること。
- ② 伐採木の処分方法については、関係法令及び条例等を遵守し、熊谷市一般廃棄物処分業許可業者且つ、リサイクル可能な業者へ搬入すること。

(8) 清掃工

- ① 集積したゴミ・落葉等の処分は刈草・刈芝等処分工に準じて行うこと。

(9) 共通事項

- ① 業務の実施にあたり契約書の仕様書等を完全に理解し、堅実で正確な作業をしなければならない。
- ② 業務計画書を作成し、契約後 2 週間以内に監督員に提出すること。
- ③ 現場責任者は、必ず受注者名を入れた腕章をつけ、業務委託の作業中は現場に常駐すること。但し、現場責任者が現場を離れる時は、代理の責任者を必ず置くこと。
- ④ 除草に伴う借地、地元との調整等は、受注者の責任において行うこと。

- ⑤ 除草作業に伴い、第三者への被害が懸念される場合は、事前に連絡を行うこと。また、浄配水施設及び、民地に接する部分（ブロック、タイル等）の破損等は、受注者の責任において対応すること。

また、受注者の責任と認められない場合は、これを証する書類を提出すること。

- ⑥ 水道施設の構内には立ち上がりバルブ、ケーブル、標識、埋設杭等があるため注意して施行すること。
- ⑦ 芝刈・除草作業にあたっては、小石等が飛散しないように十分注意し、必要に応じて飛散防止措置を施すこと。
- ⑧ 業務場所内の沈澱池・ろ過池・開渠等に刈草・切枝・散布薬剤等が飛散しないよう十分注意し作業を行うこと。

また、敷地境界付近では、刈草・切枝・散布薬剤等が構外に飛散しないよう注意し、必要な措置を行い、刈芝・切枝等を構外に飛散させた場合は、受注者の責任において取り除くこと。

- 5 その他 防草シート補修工の実施にあたっては、実施予定月の2か月前までに必要な使用材料の概数を監督員に報告し、材料の支給を受けること。

場所	項目		数量			(参考)	実施回数(契約期間)			
	種別	備考	数量	回数	合計		R7上半期	R7下半期	R8	R9
妻沼第1浄水場	機械除草		706 ㎡	4 回	2,824 ㎡	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
	低木剪定	寄植(1.5m未満)	66 ㎡	1 回	66 ㎡	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
		玉物(樹高75cm以上120cm未満)	13 株	1 回	13 株	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
	高木剪定	針葉樹(幹周15cm以上30cm未満)	1 本	1 回	1 本	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
		針葉樹(幹周60cm以上90cm未満)	6 本	1 回	6 本	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
		常緑樹(幹周15cm以上30cm未満)	5 本	1 回	5 本	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
		常緑樹(幹周30cm以上60cm未満)	3 本	1 回	3 本	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
		落葉広葉樹(幹周15cm以上30cm未満)	2 本	1 回	2 本	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
	側溝清掃		124 m	1 回	124 m	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
	防草シート補修工	材料支給	1 式	1 回	1 式	1 回	0 回	1 回	1 回	1 回
妻沼第2浄水場	芝生刈込		3,177 ㎡	4 回	12,708 ㎡	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
	機械除草		1,061 ㎡	4 回	4,244 ㎡	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
	人力除草・敷均し	植込部分	47 ㎡	4 回	188 ㎡	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
	低木剪定	寄植(1.5m未満)	31 ㎡	1 回	31 ㎡	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
		玉物(樹高75cm以上120cm未満)	61 株	1 回	61 株	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
	高木剪定	針葉樹(幹周60cm以上90cm未満)	16 本	1 回	16 本	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
		常緑樹(幹周15cm以上30cm未満)	1 本	1 回	1 本	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
	防草シート補修工	材料支給	1 式	1 回	1 式	1 回	0 回	1 回	1 回	1 回
	芝生刈込 ※1		1,810 ㎡	4 回	7,240 ㎡	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
	機械除草		826 ㎡	4 回	3,304 ㎡	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
妻沼新第2浄水場	低木剪定	玉物(樹高75cm以上120cm未満)	11 株	1 回	11 株	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
	高木木剪定	針葉樹(幹周30cm以上60cm未満)	1 本	1 回	1 本	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回

場所	項目		数量			(参考)	実施回数(契約期間)			
	種別	備考	数量	回数	合計		R7上半期	R7下半期	R8	R9
旧妻沼第2水源	機械除草		15 m ²	4 回	60 m ²	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
旧妻沼第3水源	機械除草		11 m ²	4 回	44 m ²	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
妻沼第5水源	機械除草		2 m ²	4 回	8 m ²	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
旧妻沼第6水源	機械除草		14 m ²	4 回	56 m ²	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
妻沼第7水源	機械除草		66 m ²	4 回	264 m ²	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
妻沼第8水源用地	機械除草	冬期のみ集草、他は刈り放し	999 m ²	4 回	3,996 m ²	1 回	1 回	4 回	4 回	3 回
妻沼第9水源用地	機械除草	線的除草(構造物周辺)	34 m ²	4 回	136 m ²	0 回	0 回	4 回	4 回	3 回
処分費 ※2	芝・雑草等				t		t	t	t	t
	剪定枝				t		t	t	t	t

※1 妻沼新第2浄水場の芝生刈込については、施設改修工事の関係で下記の面積を控除する。

年度	R7下	R8	R9	R10上
控除(m ²)	885	746	467	467

※2 処分費については、下記の実績を参考に適宜設定すること。

年度	R4	R5	R6
芝・雑草等	11.0	5.8	6.2
剪定枝	1.2	1.0	2.5

(単位：t)

【参考資料 3－⑩】

江南地区浄配水場等緑地管理業務

特 記 仕 様 書

熊谷市上下水道部水道課

1 適用範囲

- (1) 本仕様書は、江南地区浄配水場等緑地管理業務の履行に必要な一般的事項を定めたものである。
- (2) 本仕様書に定めのない事項は「埼玉県土木工事共通仕様書」による。
- (3) 作業工程は、監督員と密に連絡を取り、十分な打合せをすること。また、作業を予定している日は、毎朝、着手前に監督員へ連絡すること。
- (4) 作業の実施に当たっては、本仕様書のほか、数量表に基づき履行しなければならない。

2 業務場所

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| (1) 江南浄水場 | 熊谷市成沢 9 2 6 番地 |
| (2) 小江川増圧配水場 | 熊谷市小江川 9 2 2 番地 2 |
| (3) 塩増圧配水場 | 熊谷市塩 8 8 番地 1 |
| (4) 江南第 2 水源 | 熊谷市樋春 1 2 2 2 番地 2 |
| (5) 江南第 3 水源 | 熊谷市樋春 8 1 8 番地 1 |
| (6) 江南第 4 水源 | 熊谷市樋春 1 2 3 6 番地 3 |
| (7) 江南第 5 水源 | 熊谷市樋春 8 7 5 番地 |
| (8) 江南第 6 水源 | 熊谷市樋春 8 8 0 番地 3 |
| (9) 江南第 7 水源 | 熊谷市樋春 1 0 6 8 番地 9 |
| (10) 減圧弁敷地（旧江南第 1 水源跡地） | 熊谷市成沢 2 0 1 番地 2 |

3 業務数量 数量の詳細は別紙「江南地区緑地管理業務 数量表」を参照のこと。

4 業務仕様

(1) 除草工（抜取、手刈、機械）

- ① 刈高、仕上げの程度については、事前に監督員と協議し承諾を得ること。
なお、機械刈りに先立って、敷地内の塵等の除去をすること。
- ② 草刈り対象区域で樹木・株物等の植えてある場所は、幹や枝に傷をつけないよう十分注意して幹の根元まで刈り取り、ツタ・落ち葉等をかき取り清掃すること。
- ③ 機械刈りによる場合においても、樹木や器物等支障物の周辺は補正手刈りを行うこと。
- ④ 業務時期は、発注者が指定する時期に草丈の状況を判断し、適切な時期に実施できるよう注意し、所定回数を刈取ること。着手後は迅速な施行に心掛けること。

(2) 芝刈工

- ① 作業にあたっては、事前に刈込み高を監督員と協議した後、芝刈りを行うこと。
- ② 機械（エンジン付）芝刈機及び肩掛式草刈機等で、刈むら及び刈残しのないよう均一に刈込むこと。
- ③ 作業対象区域で樹木・株物等の植えてある場所は、幹や枝に傷をつけないよう十分注意して幹の根元まで刈り取り、ツタ・落ち葉等をかき取り清掃すること。
- ④ 業務時期は、発注者が指定する時期に芝丈の状況を判断し、適切な時期に実施できるよう注意し、所定回数を刈取ること。着手後は迅速な施行に心掛けること。

(3) 刈草・刈芝等処分工

- ① 発生した刈草・刈芝等は風などにより散乱しないよう寄せ集め・運搬・清掃等を行い受注者の責任と負担で全て場外へ搬出すること。

(4) 樹木剪定工

- ① 樹木にとって、剪定による悪影響を生ずることがない時期に作業すること。
- ② 樹木の剪定、整枝は、樹種本来の形（円柱状・逆円錐状・卵状・球状・広卵状等）を維持すること。
- ③ 剪定した枝は、速やかに処理し、剪定した樹木周辺の清掃を実施すること。
- ④ 樹冠の成長を均一にするため、頂上枝葉は少なく、下方枝は多く残すこと。
- ⑤ 玉物類及び生け垣類の剪定は、根本廻りの芝生、雑草の除去及び枯れ落ちた枝等の除去も行うこと。
- ⑥ 松類の剪定にあたっては、樹木の健全な育成を図るばかりでなく、美観も高めるように特に留意して剪定を行うこと。
- ⑦ その他の剪定作業の詳細については、監督員の指示による。

(5) 刈込工（玉物・生垣等）

- ① 刈取った枝葉が樹冠内等に残らないよう、全て取去ること。
- ② 刈取った枝葉はすみやかに処分し、刈り込んだ樹木等の周辺の清掃を実施すること。
- ③ 花木類の刈込みについては、花芽分化の時期に十分注意して行うこと。

(6) 剪定枝・刈込枝葉等処理工

- ① 発生した剪定枝・刈込枝葉等は風などにより散乱しないよう寄せ集め・運搬・清掃等を行い受注者の責任と負担で全て場外へ搬出すること。
- ② 剪定した枝（葉付のもの含む）のみの処理は、関係法令及び条例等を遵守し、熊谷市一般廃棄物処分業許可業者且つ、リサイクル可能な業者へ搬入すること。

(7) 支障木伐採

- ① 管理上支障となる樹木を根元からチェーンソー等で切り倒すものであるため、作業者は足下を整理し、十分な安全策を講じ作業すること。
なお、伐採木の根株は、人が躓いたりする危険がないように、監督員と協議し処理すること。
- ② 伐採木の処分方法については、関係法令及び条例等を遵守し、熊谷市一般廃棄物処分業許可業者且つ、リサイクル可能な業者へ搬入すること。

(8) 清掃工

- ① 集積したゴミ・落葉等の処分は刈草・刈芝等処分工に準じて行うこと。

(9) 共通事項

- ① 業務の実施にあたり契約書の仕様書等を完全に理解し、堅実で正確な作業をしなければならない。
- ② 業務計画書を作成し、契約後 2 週間以内に監督員に提出すること。
- ③ 現場責任者は、必ず受注者名を入れた腕章をつけ、業務委託の作業中は現場に常駐すること。但し、現場責任者が現場を離れる時は、代理の責任者を必ず置くこと。
- ④ 除草に伴う借地、地元との調整等は、受注者の責任において行うこと。

- ⑤ 除草作業に伴い、第三者への被害が懸念される場合は、事前に連絡を行うこと。また、浄配水施設及び、民地に接する部分（ブロック、タイル等）の破損等は、受注者の責任において対応すること。

また、受注者の責任と認められない場合は、これを証する書類を提出すること。

- ⑥ 水道施設の構内には立ち上がりバルブ、ケーブル、標識、埋設杭等があるため注意して施行すること。
- ⑦ 芝刈・除草作業にあたっては、小石等が飛散しないように十分注意し、必要に応じて飛散防止措置を施すこと。
- ⑧ 業務場所内の沈澱池・ろ過池・開渠等に刈草・切枝・散布薬剤等が飛散しないよう十分注意し作業を行うこと。

また、敷地境界付近では、刈草・切枝・散布薬剤等が構外に飛散しないよう注意し、必要な措置を行い、刈芝・切枝等を構外に飛散させた場合は、受注者の責任において取り除くこと。

- 5 その他 防草シート補修工の実施にあたっては、実施予定月の2か月前までに必要な使用材料の概数を監督員に報告し、材料の支給を受けること。

場所	項目		数量			(参考)	実施回数(契約期間)			
	種別	備考	数量	回数	合計		R7上半期	R7下半期	R8	R9
江南浄水場	機械除草		3,409 ㎡	4 回	13,636 ㎡	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
	低木剪定	玉物(樹高45cm以上75cm未満)	30 本	1 回	30 本	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
		玉物(樹高75cm以上120cm未満)	5 本	1 回	5 本	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
		玉物(樹高120cm以上)	2 本	1 回	2 本	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
	高木剪定	落葉広葉樹(幹周15cm以上30cm未満)	5 本	1 回	5 本	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
		落葉広葉樹(幹周30cm以上60cm未満)	1 本	1 回	1 本	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
		落葉広葉樹(幹周60cm以上90cm未満)	1 本	1 回	1 本	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
		落葉広葉樹(幹周90cm以上120cm未満)	5 本	1 回	5 本	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
		落葉広葉樹(幹周120cm以上)	5 本	1 回	5 本	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
	防草シート補修工	材料支給	1 式	1 回	1 式	1 回	0 回	1 回	1 回	1 回
小江川増圧配水場	機械除草		791 ㎡	4 回	3,164 ㎡	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
塩増圧配水場	機械除草		395 ㎡	4 回	1,580 ㎡	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
	高木剪定	常緑広葉樹(幹周15cm以上30cm未満)	30 本	1 回	30 本	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
江南第2水源	機械除草		7 ㎡	4 回	28 ㎡	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
江南第3水源	機械除草		9 ㎡	4 回	36 ㎡	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
江南第4水源	機械除草		85 ㎡	4 回	340 ㎡	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
江南第5水源	機械除草		7 ㎡	4 回	28 ㎡	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
江南第6水源	機械除草		13 ㎡	4 回	52 ㎡	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
江南第7水源	機械除草		7 ㎡	4 回	28 ㎡	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回
減圧弁敷地	機械除草		25 ㎡	4 回	100 ㎡	3 回	1 回	4 回	4 回	3 回

場所	項目		数量			(参考)	実施回数(契約期間)			
	種別	備考	数量	回数	合計	R7上半期	R7下半期	R8	R9	R10上半期
処分費 ※1	芝・雑草等				t		t	t	t	t
	剪定枝				t		t	t	t	t

※1 処分費については、下記の実績を参考に適宜設定すること。

年度	R4	R5	R6
芝・雑草等	5.2	7.0	6.5
剪定枝	1.2	1.2	2.1

(単位：t)

【参考資料 3－⑪】

各浄配水場室内清掃業務 特記仕様書

第 1 章 総則

1 目 的 市内各浄・配水場における清潔な環境の維持及び美観の保持

2 業 務 場 所

(1) 熊谷地区

- ・ 東部浄水場（原島 1 0 3 1 番地）
- ・ 西部配水場（新堀 4 3 1 番地）
- ・ 北部浄水場（今井 9 4 5 番地）

(2) 大里地区

- ・ 玉作浄水場（玉作 3 5 1 8 番地）

(3) 妻沼地区

- ・ 妻沼第 1 浄水場（八木田 5 2 3 番地）
- ・ 妻沼第 2 浄水場（八ツ口 1 7 4 番地）
- ・ 妻沼新第 2 浄水場（八ツ口 1 8 1 番地）

(4) 江南地区

- ・ 江南浄水場（成沢 9 2 6 番地）

3 用語の定義

- (1) 施 設 指定した水道施設のことをいう。
- (2) 監 督 員 発注者に所属する職員で施設管理担当者をいう。
- 従 事 者 受注者に所属する職員で管理業務に従事する者をいう。
- 現場責任者 従事者のうち受注者が指定した者をいう。

4 指 示 事 項

- (1) この仕様書は、管理業務の大要を示すものであり、この仕様書に定めのない事項又は疑義のある事項については、「熊谷市建物管理、清掃等に関する業務委託契約約款」により実施するものとする。
- (2) 受注者は、従事者を厳選のうえ、業務に従事させなければならない。
- (3) 受注者は、作業予定表を発注者に提出するものとする。
- (4) 受注者は、発注者が備える各種報告用紙類によって、所定の記録及び報告をしなければならない。

5 従事者の義務

- (1) 従事者は、受注者が定めた服装を着用するものとする。
- (2) 従事者は、常に規律を守り品位を保持し、明朗、親切にしなければならない。
- (3) 従事者は、発注者の業務に支障のないよう作業を行わなければならない。
- (4) 従事者は、施設、備品その他の破損箇所を発見したときは、直ちに監督員に報告しなければならない。
- (5) 従事者は、施設の防火管理について、発注者の定める防火管理者の消防計画に従わなければならない。
- (6) 従事者は、事故又は事故の発生が予想されるとき、臨機に措置できる態勢をとらなければならない。
- (7) 従事者は、監督員と連絡、調整を密にし、一致協力して業務にあたらなければならない。

6 責任者の職務

- (1) 責任者は、発注者及び受注者又は監督員及び従事者の間における意思の伝達を行うと共に総合的な企画及び統括を図らなければならない。
- (2) 責任者は、その他管理上必要な措置をとる必要が生じたときは、直ちに発注者と協議しなければならない。

7 経費の負担区分

- (1) 発注者が負担する経費は、次のとおりとする。
 - ア 業務を実施するために使用する電気、水道。
- (2) 受注者が負担する経費は、次のとおりとする。
 - ア 業務を実施するのに必要な機械、器具及び材料（衛生材料含む。）等。
 - イ 従事者の服装、寝具及び作業に必要な保護手袋等。

第2章 業務

1 清掃業務

(1) 定期清掃

- ア 人 員 業務を実施するに足りる必要な人員を確保すること。
- イ 清掃面積 別紙「各浄配水場室内清掃業務 数量表」を参照のこと。
- ウ 作業基準

- ① 作業時間は、原則として次のとおりとする。
 - 午前9時から午後4時30分までとする。
 - 支障がある場合は、監督員と協議し決定するものとする。

② 床面清掃を目的とした清掃を行うものとする。

(2) 清掃業務の作業基準

ア 床面

- ① 床面は、ほうき・モップ・ワックス掛け、その他にて静かに除塵する。
- ② 絨毯清掃は、隅々まで吸塵機を使用して行う。
- ③ 機械設備のある場所は十分注意して作業を行う。

イ 便所・洗面所・湯沸し室等

- ① 床面は、モップ拭きとし、汚れの程度に応じて洗浄剤を用いる。
- ② 便所・洗面所・流し場等は、特殊専用洗剤を用い十分に洗浄する。

ウ ガラスの清掃は清掃業務対象外とする。

(3) 注意事項

ア 作業は静粛に行うこと。

イ 作業のために使用する水等を通行人、壁、物品等に飛散しないよう十分注意すること。

ウ 作業により移動した机、イス等は、原則として必ず元の位置に戻すこと。

エ 本件業務と浄・配水場の工事及び委託が同時期に場内へ入場する場合もあるため、お互いの持ち場に支障のないよう打合せを行うこと。

各浄配水場室内清掃業務 数量表

【参考資料3 - ⑪】

場所	項目		数量			(参考)	実施回数(契約期間)				
	種別	備考	数量	回数	合計		R7上半期	R7下半期	R8	R9	R10上半期
東部浄水場		管理棟地下1階	床清掃		88.2 ㎡	1 回	88.2 ㎡	0 回	1 回	1 回	0 回
		配管外面清掃		19.6 ㎡	1 回	19.6 ㎡	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
西部配水場	管理棟	床清掃		22.5 ㎡	1 回	1 回	22.5 ㎡	0 回	1 回	1 回	0 回
		トイレ清掃(1か所)		1 式	1 回	1 式	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
北部浄水場	管理棟	床清掃(玄関ホール、床)		48.7 ㎡	1 回	1 回	48.7 ㎡	0 回	1 回	1 回	0 回
		床清掃(倉庫)		6.8 ㎡	1 回	1 回	6.8 ㎡	0 回	1 回	1 回	0 回
		床清掃(湯沸室)		3.0 ㎡	1 回	1 回	3.0 ㎡	0 回	1 回	1 回	0 回
		床清掃(事務室)		20.0 ㎡	1 回	1 回	20.0 ㎡	0 回	1 回	1 回	0 回
		床清掃(宿直室、タイル部分のみ)		10.0 ㎡	1 回	1 回	10.0 ㎡	0 回	1 回	1 回	0 回
		トイレ清掃(1か所)		1 式	1 回	1 式	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
		床清掃(旧事務室)		299.0 ㎡	1 回	1 回	299.0 ㎡	0 回	1 回	1 回	0 回
妻沼第1浄水場	管理棟	床清掃(会議室3室、廊下、階段)		262.0 ㎡	1 回	1 回	262.0 ㎡	0 回	1 回	1 回	0 回
		床清掃(玄関、廊下)		28.0 ㎡	1 回	1 回	28.0 ㎡	0 回	1 回	1 回	0 回
妻沼第2浄水場	管理棟	床清掃(玄関、廊下、倉庫)		45.0 ㎡	1 回	1 回	45.0 ㎡	0 回	1 回	1 回	0 回
		トイレ清掃(1か所)		1 式	1 回	1 式	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
妻沼新第2浄水場	管理棟	床清掃(玄関、玄関西部屋)		37.0 ㎡	1 回	1 回	37.0 ㎡	0 回	1 回	1 回	0 回
		床清掃(玄関、ホール、通路)		136.0 ㎡	1 回	1 回	136.0 ㎡	0 回	1 回	1 回	0 回
玉作浄水場	管理棟	床清掃(湯沸室、白木部分含む)		18.0 ㎡	1 回	1 回	18.0 ㎡	0 回	1 回	1 回	0 回
		カーペット清掃(事務室)		112.0 ㎡	1 回	1 回	112.0 ㎡	0 回	1 回	1 回	0 回
		トイレ清掃(1か所)		1 式	1 回	1 式	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
江南浄水場	管理棟	床清掃(1階、作業員控室)		180.0 ㎡	1 回	1 回	180.0 ㎡	0 回	1 回	1 回	0 回
		床清掃(2階、倉庫)		135.0 ㎡	1 回	1 回	135.0 ㎡	0 回	1 回	1 回	0 回
		トイレ清掃(1階、大便器1、小便器2)		1 式	1 回	1 式	0 回	1 回	1 回	1 回	0 回
		トイレ清掃(2階、大便器1、小便器2)		1 式	1 回	1 回	1 式	0 回	1 回	0 回	